平成24年1月17日 00049号

編集者:佐藤寿春

直通:090-5986-0839

代表:0157-61-4804 Fax:0157-23-0581

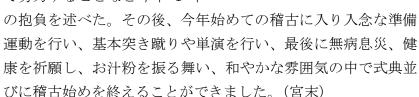
satou.tosiharu@navy.plala.or.jp

ニュースレター 【少林寺拳法】北見市少林寺拳法協会の鏡開き式典

北見市少林寺拳法協会の鏡開き式が1月8日(日)午後6時30分 より東相内専有道場で金剛禅総本山少林寺の式典要領に基づき執 り行いました。式典の最後に道院長の法話があり、今年は、昨年 に引き続き少林寺拳法の組織による東北被災地への支援や諸行事



について、さらには、それぞれ が目標を掲げその目標に向け て努力することなど今年1年





1月9日(月)、平成24年度北見居合道連盟初抜き会が東トレーニン グセンター2階において午後7時より開催され、参加者は各自5本の 自由業・着座・刀礼の後、高段者による演武・通常礼式が披露を致し ました。北見居合道連盟会長 玉槻芳久先牛(節士八段)からは、「私が居 合道を修業するに当たって常々思うことは、居合道が大道を修練する ものである以上、先ず第一に大切なことは、人格の陶治と高い識見を 身に着けることにあり、一塊の剣術使いになる為の修業を我々はして



いるのではないということです。兵法に少しでも近づくために修業をしています。兵法の中には技もしかり精 神的な色々な文言が含まれており、常に道義を重んじ正しい道を踏み行って斯道発展の為、至誠一貫、不断の 精進努力徹しなければならないと確信しながら行っていることです。」とのコメントを頂きました。(佐藤英雄)

【弓道】平成 24 年射初会

1月9日、厳寒のなか北見市弓道場において射初会が開催されました。 新年最初の行事であるこの射初会には21名の会員が参加し、健康や今年 の抱負を祈願して弓と矢を手にしました。最初に恒例となっている年男・



年女による演武が披露され、辰年生まれの 男女 4 人は静粛な射場で緊張しながら慎 重に弓を射ていました。また参加者による 一手射礼も行われ、28 メートル先の的に



真剣に向き合っていました。月例会も同時に開催され、適度な緊張 と和気あいあいのなか射初会が盛会裏に終了いたしました。(今野)